



みんなで作った桜の木(めぐみの里)

〒377-8567 群馬県渋川市渋川4418
 TEL0279(22)1730(代)
 URL <http://www.meguminosono.jp/>
 E-mail meguminosono@dan.wind.ne.jp



◎ 巻頭言 ◎



高齢者の運転

エステル施設長 福田 政彦

近年まれにみる勢いで見聞きするようになった社会問題に高齢者による自動車運転事故があります。

アクセルとブレーキの踏み間違え、高速道路の逆走など毎日のように報道されていますが、後を絶つ気配さえ見えません。

運動能力や判断力の低下、さらには認知症などが原因と言われますが、免許返納はなかなか浸透せず、繰り返される悲劇を防ぐ有効な打開策を見い出せない状況です。

高齢者にとって、免許返納に抵抗感を持つ方もいたり、認知症になり返納自体を考え付かなかつたりするケースもあるようですが、公共交通機関が十分でない地方では特に、買い物に行くには車がないと不便との声が多いようです。

その対策として、免許証を返納した高齢者に対して、

タクシー券やバスの乗車券を支給する自治体も増えています。駅や病院までコミュニティバスを運行する自治体、買い物支援のサービスを開始した自治体など、全国各地で移動手段の確保、免許がないことの不便さ解消に向けた取り組みが強化されてきています。

また、法的には、六月までに道路交通法が改正され、七十五歳以上の運転者に対する認知症対策の強化が図られる予定です。

認知症の人は十年後には現在よりも二百万人増えて七百万人、高齢者の五人に一人になると推計されています。

人を傷つけることなく、自分の身を守り、家族を悲しませないためにも、いざとなったら運転をやめることを考え、備えておくことも必要ではないでしょうか。

〈特集〉

カナン・ゆうかり一周年



体操の様子

特別養護老人ホーム「カナン」・高齢者デイサービス「ゆうかり」は、本年四月一日で創立一周年を迎えました。

「カナン」のこの一年を振り返ってみますと、忘れもしません、四月八日に最初の利用者を迎えました。職員はそれまで、全職員で勤務の流れや支援のマニュアルを作成し、確認のための研修を実施していました。

しかし、支援が始まると十分に検討していた内容でも、常に確認が必要でした。最初に利用された利用者は職員の「待ってましたの意気込み」に「圧倒されたのではないでしょう。お互いの緊張がほぐれてきたときに、新たなご利用が開始となり、半年間は、そのことの繰り返しで、皆様方の支援を実践することで精一杯でしたが、定員四十名となりましたが、悲しいわかれもあり、日々支援の難しさを感じてきました。



りんご狩り外出



中庭で野菜作り

「ゆうかり」は、四月一日から利用者を迎え、手探りの対応でした。しかし、利用者の皆様方と日課を考えて過ごすことができ、また、教えていただくことも多くあり、楽しく過ごしていただいているようで、常に笑い声が響いています。また、季節の催しや外出等も計画し進めることができました。

今後は、建物スペース一階の有効活用も考えています。地域の方々にご利用していただけるような場所にするために、設備も整えていきたいと思っています。

MEGUMI
パン工房 マンナ

手作り 焼きたて
ふっくら パン
をどうぞ。



営業:月曜～金曜日(定休日:土曜・日曜・祝日)
午前10時30分～午後5時
住所:渋川市渋川3646-3 TEL:0279-22-1712



ご支援とご協力を
お願いいたします

会員の方には年4回発行の「一粒の麦」(恵の園ニュース)をお送りします。

ご協力方法

1. 正会員: 毎月一口500円
2. 賛助会員: 随時随額または年会費1000円のワンシートサポート
3. 募金箱の設置協力
4. 使用済み切手収集も

恵の園後援会 ☎0279-22-2823

赤い羽根共同募金より電動ベッドの助成

赤い羽根共同募金からの助成により、グレイスホームに13台の電動ベッドが設置されました。7年前に15台、今回13台の電動ベッドを整備することができ、31名の利用者のうち、ほとんどの方が電動ベッドを利用できるようになりました。

グレイスホームでは、利用者の高齢化や障害の重度化が進み、自力でのベッドからの移乗の際に、転落などが目立っていました。利用者からは、自分に合った高さで調整することができるようになって、ベッドから車椅子への移乗が楽になったとの声も聞かれます。転落の危険も減り、自立度も増し、

より安全で快適に過ごせるようになりました。

この度は助成をいただき、誠にありがとうございました。



ありがとうございました

介護用リフトの活用について

厚生労働省「福祉施設における腰痛対策指針」にて、支援現場での福祉機器の活用が定められたことを受け、あけぼのホームでは、介護用リフトを購入しました。介護現場における腰痛は深刻な問題です。安全な利用者支援を継続するためにも、職員の根本的な身体負担の軽減が急務でした。

介護用リフトの活用にあたり、まず移乗支援をする全職員へ操作方法の周知を徹底しました。また、介護用リフトに対する職員の先入観を払拭するため、対象利用者、使用場面を選定し、利用者本人やご家族の了解を得た上で、試行的に活用に取り組んでいます。現在使用しているリフトは吊られて移動中も揺れが少なく、角度調整もできるので、車椅子へ移乗の際の負担も軽減することができ

ます。防水機能も付いており入浴時にも使用可能です。職員からは「身体的負担が軽減された。操作にも慣れ、不安なく移乗ができる。」との声が聞かれます。また、利用者からも、「浴室での移乗は不安だったが、リフトであれば安心して移乗ができる。」との声が聞かれています。

今後も介護用リフトの活用を更に拡大させ、安全な利用者支援に取り組んで参ります。



リフトでベッドへ移乗

福祉現場からの主張

季刊誌

SAKIGAKE

定価300円

定期購読会員募集中!

発行 社会福祉法人 恵の園

SAKIGAKE
16 Summer Issue VOL.35



母の日記を見てしまった。 横田リサ
がん患者外来を訪ねて 藤 由加
COP2に期待する 藤村健史



社会福祉法人 恵の園

特別栽培

季節の野菜
赤城のリンゴ

シャロー

〒379-1103
赤城町津久田1700

TEL.0279-56-8510 FAX.0279-56-8520

秋桜祭

昨年の11月5日、秋桜祭を開催しました。「地域との交流」「福祉啓蒙活動の推進」を目的とし、利用者の作品展示、作業体験コーナー、各種模擬店、福祉機器の展示、アトラクション披露等を行ないました。

作品展示では、各施設で製作した書道・絵画や立体的な作品等が展示され、作品にはそれぞれ利用者の想いが感じられました。

作業体験では、印刷班の作業を利用者が直接指導。来客者にオリジナルの名刺を製作していただきました。

アトラクションは、3つの団体をお招き

し、利用者・来客者と共に楽しみました。「日本車椅子ダンス連盟」様による華麗な演技と利用者と一緒にダンス。「音あそびの会たんぼぼ」様からは、童謡の演奏。会場全員一緒になって、歌を歌いました。車椅子バスケットボールチーム「群馬マジック」様からは、実際にゴールポストに向かってシュートの実演をしていただきました。参加していただいた団体の皆さまには厚く感謝申し上げます。

今回、4年ぶりとなる秋桜祭でしたが、継続して開催できるように努めます。



車椅子ダンス



車椅子バスケット

めぐみの里 もちつき交流会

十二月三日(日)毎年恒例の渋川市勤労者協議会の方々との「もちつき交流会」が行なわれました。今年はやく、風もない穏やかな天気の中で行なうことができました。

協議会の方々にサポートしていただき、たくさんの方々の利用にもちつき体験を楽しんでもらいました。大声で掛け声を出す元気な人

静かでマイペースな人、それぞれでしたが、皆さん満面の笑顔を浮かべていました。また、顔なじみになった利用者や協議会の方との間では和やかな笑い声や話し声も聞こえていました。

つきたてのおもちには、協議会の女性会員の方々に、おり、おろし大根、きなこ、胡麻、あんこ、みたらしの五種類の味付けとなりました。皆さん、大変美味しそうに食べていて、おかわり

の要望がたくさんあり、お腹いっぱい食べることができました。

交流の最後にお礼と感謝の気持ちを込めて、手作りお菓子をプレゼントさせていただきました。準備の段階からお手伝いいただき、ありがとうございました。協議会の皆さん、大変ありがとうございました。

(渋川市社協の地域歳末たすけあい募金より助成をいただきました。)



杵を持つ手に気持ちを込めて